

25年度の除染の状況

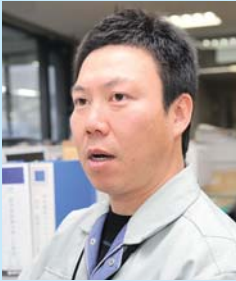
前ページでは、計画による3カ年の実施状況をお知らせしましたが、ここでは、本年度の除染の状況をお知らせします。

本年度は、調査対象382施設（文化、福祉、農林、商工、上下水道、消防屯所など）のうち、国の基準値である毎時0・23シーベルト、または、地表面で毎時1シーベルトを上回った43施設の除染を行いました。これは、調査対象施設の11%で、昨秋までに全施設が、除染を終了しました。その詳細は表5のとおりです。



除染後は盛り土するなどして覆いました

■表5 25年度公共施設(全43施設)などの除染結果

	施設名	最大測定値			施設名	最大測定値	
		除染前	除染後			除染前	除染後
水沢区	市役所本庁舎	0.25	0.13	胆沢区	第30分団第1部消防屯所	0.22	0.15
	故郷の森小公園	0.32	0.15		第30分団第2部消防屯所	0.26	0.16
	伝統産業会館	0.28	0.14		市勤労青少年ホーム胆沢サテライト	0.18	0.13
	水沢高齢者創作館	0.31	0.12		胆沢学校給食センター	0.21	0.15
	水沢図書館	0.73	0.19	衣川区	職員住宅	0.41	0.13
	市文化会館(乙ホール)	0.25	0.14		第32分団第1部消防屯所(池田)	0.19	0.16
	後藤伯記念公民館	0.21	0.18		第32分団第2部消防屯所(川東)	0.19	0.13
江刺区	江刺体育文化会館(ささらホール)	0.19	0.09		第32分団第2部消防屯所(川西)	0.28	0.19
前沢区	前沢総合支所庁舎	0.57	0.11		第34分団第3部消防屯所	0.24	0.12
	牛ちゃん通りさわやかトイレ	0.32	0.11		国民宿舎サンホテル衣川荘	0.24	0.14
	第21分団第2部消防屯所	0.28	0.20		黒滝温泉	0.25	0.15
	第22分団第1部消防屯所	0.25	0.16		国見平温泉	0.41	0.10
	第22分団第2部消防屯所	0.26	0.21		衣川ふるさと自然塾	0.23	0.22
	第22分団第3部消防屯所	0.27	0.15		衣川下請け等施設	0.38	0.15
	第23分団第1部消防屯所	0.20	0.10		衣川ヘリポート	0.32	0.18
	第25分団第2部消防屯所	0.24	0.22		衣川食材供給施設	0.26	0.19
	第25分団第3部消防屯所	0.26	0.19		生活支援ハウス	0.27	0.12
	月山キャンプ場	0.30	0.24	＝ 担当者からの声 ＝			
	前沢勤労者研修センター	0.25	0.19	本庁危機管理課			
	アスティ南公園	0.24	0.21	原発放射線対策室			
	南前沢グリーンパーク	0.26	0.20	高橋 裕基 主査			
	前沢学校給食センター	0.74	0.19				
	前沢図書館	0.14	0.12				
	前沢ふれあいセンター	0.59	0.17				
	俳句の庵	0.28	0.17				
	牛の博物館	0.39	0.18				

※測定値は除染した場所の最大数値(測定高1m)

共同仮置場候補地の現状

東日本大震災以降、春と秋の清掃活動などで排出される道路側溝の汚泥などの処理が3年余りの間、滞っている状況です。その結果、「悪臭などの公衆衛生上の問題」「側溝の機能低下に伴う防災上の問題」などが生活環境に悪影響を及ぼしています。

市は、この状況を解消するため、これらを一時的に保管する「共同仮置場」の設置を24年度から検討しています。

市は、安全で安心して暮らせる生活環境を確保するため、適切に管理する共同仮置場の設置に向けた話し合いを今後も行っていきますので、ご理解と協力をお願いします。

◆設置への進捗状況

市は、住民代表で構成する共同仮置場設置検討会を自治区ごとに設置。水沢区では、8地区ごとに1カ所、他区では自治区単位で1、2カ所設置することで進めてきました。水沢区以外の自治区においては、昨年2月に実施した地元説明会などで反対意見が多く

寄せられ、水沢区と同様、振興会などの単位での検討に変更。現在も各振興会などと協議を続けています。

その中で、水沢区の姉妹地区、水沢南地区は、振興会との協議が整い、本年度中の設置に向け、現在準備を進めています。今回決定した2地区では、この春に行う予定の道路側溝清掃の汚泥処理に向けて、今後地元の振興会や衛生組合などと相談しながら進めていくことにしています。

◆共同仮置場の概要

共同仮置場の構造は、除去土壌の保管に係る国のガイド

ラインによる「フレキシブルコンテナ(以下、コンテナ)による地上保管方式」で進めています。土盛りなどを施した上に、遮水シートを敷き、その上に汚泥などを入れたコンテナを平積み状態で並べ、さらにその上から遮水シートで覆い、地下への漏水、飛散の防止を徹底します。また、コンテナから5mほど離れた周囲にフェンスを設置。日常生活空間に放射線が届かないように安全を確保し、設置後は週1回、施設周辺を含めた放射線量測定を行い、監視を強化します。

「候補地近隣の風評被害が心配」「当初の予定通り3年以内の撤去ができるのか」など地区民からの反対意見も多く、なかなか合意には至りませんでした。しかし、側溝汚泥や土砂などの処理が滞ることはあってはならないと、地区の環境保全を最優先に考え、決定に至りました。

市や地区民、そして私たち振興会と一緒に考え、じっくりと対話し、意思疎通をしっかりと図ったことがよかったと思います。

26年度以降の放射線対策

市は、除染計画に基づく放射線対策を行ってきました。除染計画は23年度から25年度までですが、今後も国や県など関係機関と連携し、市民が安心して暮らせるように次の対策を進めていきます。

また、現在も国や県などから出荷や採捕を自粛要請されている食物などがありますので、注意してください。

■日常生活空間線量の低減

- ※26年度以降の最長3年間
- (1)側溝汚泥の処理
 - ◎共同仮置場の設置、管理
 - ◎現場保管の汚泥などの管理

■食品検査などの対応

- ※26年度継続実施
- (1)学校給食の濃度測定と公表
 - (2)農林産物の濃度測定と公表

現在も国や県の出荷制限指示、出荷・採捕自粛要請がかけられている市内産の食物など(26年2月現在)

- ◇農産物
そば(衣川産) ※25年10月21日一部解除
- ◇野生生物
クマ、シカ、ヤマドリ肉(市全域)、ウグイ(胆沢川水系、広瀬川水系、人首川水系、衣川水系、北上川)、ヤマメ(衣川水系)
- ◇きのこ類
露地栽培原木しいたけ、露地栽培原木なめこ、露地栽培原木くりたけ、露地栽培原木ひらたけ、野生きのこ全種類(市全域)
- ◇山菜類
こしあぶら、ぜんまい、野生わらび、野生せり、たけのこ、野生フキ、野生サンショウ(市全域)



除染を終えた前沢児童館で遊ぶ子どもたち

もうすぐ東日本大震災に伴う原発事故から3年がたちます。この事故は、私たち市民の暮らしに大きな影響を与え、いまだにその爪痕を残しています。安心して暮らせる生活を取り戻すため、今後も市民と行政が一体となって、この問題を乗り越えていきましょう。